

町田忠治 ちゅうじ ちゅうじ 政治家。文久二年二月二十日(羽國生れ、昭和)二十一年十一月十一日歿(八十三歳)。明治二十年帝國大學法科大學選科卒。新聞記者を経て、二十八年「東洋經濟新報」創刊(初代主幹)、次で山口銀行總理事となり、四十一年衆議院議員(當選十回)。農相、商工相、藏相、國務相歴任。昭和十年「憲民政黨總裁、戰後日本進歩黨總裁」もハル藏進放公遣ふ。字子徳、號效堂。

譯著書、「コツサ著『財政學』(重譯、再版、明治二十五年四月八日博文堂)、  
 「第六十五回帝國議會代表雄辯集」附、各國務大臣答辯」(合著・繪垣清人編、昭和九年二月二十一日日本講演通信社)、  
 「名士の諾々」(城南山)(合著、一文堂欽也、昭和十五年四月二十日婦人往來社)等。  
 文獻、松村謙三著「町田忠治翁傳」(昭和二十五年八月二十一日町田忠治翁傳記刊行會)等。

